

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	昭和50年～		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	04 都市交通施設(駐車場の整備)
事務事業名	02	市営駐車場管理事業	
根拠法令・例規等	備前市営駐車場条例施行規則		
問	担当課(室)	都市整備課	
合	職・氏名	係長 万波 文雄	
先	電話	0869-64-1851	
	このシート作成に要した時間	2.5 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	公営駐車場を利用する市民及び観光客
目的(何のために)	公営駐車場の整備や施設の適切な管理運営を行なうことで、地区住民をはじめ商店街や島民の利便性の向上と駐車違反の防止を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	違法駐車を減らし、安全で快適な走行ができて生活しやすいまちをつくる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	一般駐車場管理事業	市営駐車場は一般駐車場と定期駐車場の2種類があります。使用する区画を決めて、月単位で使用料をいただくのが定期駐車場です。一般駐車場は臨時に使用した台数や日数に応じて使用料をいただきます。 現在、一般駐車場は日生地域の東備港にある港駐車場に13区画、吉永地域の駅前駐車場に22区画あります。 一般駐車場の収入は予測がつきにくいものですが、利用する人数が多くなるよう駐車場であることの表示を始め、使用料、支払い方法についてわかりやすい案内に努め、収入増を図ります。	
	定期駐車場管理事業	現在、定期駐車場は日生地域に10ヵ所260区画、吉永地域に2ヵ所80区画あります。日生地域は地理的に平地が少なく、慢性的な駐車場不足だった時期があったため、公営駐車場の整備を進めた経緯があり、箇所、区画ともに多くなっています。吉永地域は吉永駅前に通勤者用に、雇用促進住宅付近の住民のためにと合わせて、2ヵ所管理しています。	
		収支はほとんどすべての駐車場で黒字と健全な経営状況となっており、平成22年度も約1,000万円の積み立てをしています。定期駐車もPRに努め、利用率のアップを図り、健全経営を維持する必要があります。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		6,642	2,964	2,885	
	必要人員(人件費)	千円	0.61人	4,850	0.66人	4,897
	事業費計		11,492	7,861	5,239	
	国県支出金					
	受益者負担		19,000	15,461	15,365	
	繰入金(市)	千円				
その他(一)						
一般財源			-7,508	-7,600	-10,126	
受益者負担比率	%		165.3%	196.7%	293.3%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
定期駐車区画数	説明		【単位当たりコスト】1区画当たりの管理経費=管理経費/定期駐車区画数			
結果指標量	区画		323	331	340	
対前年比	%		102.5%	102.7%	102.7%	
活動コスト			11,492,000	7,891,000	5,239,000	
単位当たりコスト	円		35,579	23,840	15,409	

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
駐車場利用率の向上	目標値(A)	90%	90%	90%	90%
	実績値(B)	82%	85%	84%	到達目標値
	達成率(B/A)	91.11%	94.44%	93.33%	95%

成果指標設定の考え方・式や説明

$$\text{利用率} = (\text{市営駐車場の定期総区画数} \div \text{市営定期駐車場総総区画数}) \times 100$$

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C

事業の目的やその数値目標である成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	これまで年1,2回払いしかできなかった日生地域の定期駐車場の使用料が毎月支払いができるよう改善した。今後、日生地域の駐車場でも、振替ができるように準備を進めたい。契約者の表示が薄れているので、明確にする。定期駐車場の利用促進を図るため、案内表示をする。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
H22年度から日生・吉永総合支所から都市整備課が駐車場を所管することとなり1年間が経過した。引継の資料ではわかりにくいこともあり、1部混乱が生じた。各総合支所の協力を得たことにより、何とか維持管理ができた。利用率はほぼ横ばいである。定期駐車の使用料の滞納額が増加する傾向があるので、督促をする必要がある。	評価区分 <A~E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	日生、吉永地域の管理方法が若干違うので、長所を活かすよう改善を図る。H23年5月に日生の深谷地区から、慢性的な駐車場不足を解消するため、市営駐車場の新設要望書が提出された。H23年中に候補地を検討し、予算化の準備を行う。引き続き使いやすく、管理しやすい市営駐車場の環境づくりを目指す。					